

インターカレッジ・コンペティション 2018 概要版

大 学 名	大阪経済大学
指導教員	人間科学部 人間科学科 教授 相原 正道
学生代表者	人間科学部 人間科学科 4年 清水 礼美
テーマ	関西ワールドマスタースゲームズ(WMG)を利用して ～日本をスポーツ大国に～
概 要	<p>2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスタースゲームズと日本でスポーツのイベントを3年連続で行う、いわゆるゴールデンスポーツイヤーズが近づいてきている。しかし、一大イベントが行われるにも関わらず日本国民のスポーツ実施率は年々低下傾向にある。スポーツ自体は好きであるという人は多いがもっぱら「観る」側の人が多い。そこで、我々はこのゴールデンスポーツイヤーズの波を利用して日本のスポーツ実施率を向上させ日本をスポーツ大国にしようと計画する。</p> <p>スポーツ実施率向上のターゲットは、我々と同じ20代の若者とする。そして我々の住む関西地区で行われる関西ワールドマスタースゲームズに焦点を当てることにした。しかし、このワールドマスタースゲームズの認知度自体が他の2大会に比べて大幅に低い。概ね30歳以上であればだれでも参加できるという身近な大会である上に、全国の人と交流することができたり日頃の自身の取り組みをためすことができたりする場であるために非常にもったいない。</p> <p>日本をスポーツ大国にするために、関西ワールドマスタースゲームズを利用した2つの提案をする。この提案により、ワールドマスタースゲームズ自体の認知度向上とともに20代日本人のスポーツ実施率の向上を図る。</p>